令和５年度(令和４年度実施事業分)主要事業評価シート

PDCA	主要事業名	後期高齢者医療健診事業	部課名	福祉部健康課	No.	19−3
					担当	山本輝
					内線	376

P 総合計画との関係性と予算根拠

総合計画： 3-2-1,3-3-1　　単位施策： 健康づくり、地域医療体制

全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度　　全体事業費等： 105,209 千円

会計： 一般会計　　歳出科目： 04.01.01.08.50

事業概要等

事業概要： 被保険者の生活習慣病の予防や疾患の早期発見を行い、健康の保持及び増進を図るため、健康診査を実施する。

事業目的： 健康診査により被保険者の健康の保持・増進、医療費の抑制を図る。

事業内容： 後期高齢者医療制度被保険者の健康診査を実施する。

問題点・課題等： 被保険者に対する健康診査の必要性の周知と受診率の低下防止に努める必要がある。

予算額 105,209 千円

財源内訳
- 市費 13,798 千円
- 国費 0 千円
- 県費 0 千円
- その他 91,411 千円

主要事業とする理由

健康診査を受診することで、疾病の早期発見、早期治療ができるとともに、被保険者及び保険者の医療費抑制につながることで、制度の適正な運営を行うため。

得られる成果

健康診査の受診率を高めることで、被保険者の健康の保持・増進を図るとともに疾病の早期発見、早期治療を促し、医療費の抑制に努めることができる。

目標値や目指すべき状態		令和２年度	令和３年度	令和４年度	単位
後期高齢者医療健康診査受診率	実績値	58.84	56.05	—	%
	目標値	60.00	60.00	60.00	%
	実績値				
	目標値				
	実績値				
	目標値				

目標項目（予算計上時に作成） ／ 予算見積書で活用

D 実績値と得られた成果

決算額 99,512 千円

得られた成果

後期高齢者に対する健康診査受診率は、前年度比1.68%増加し、県内２位となり、疾病の早期発見・早期治療による医療費の適正化に寄与した。

成果指標		令和４年度	単位
後期高齢者医療健診査受診率	実績値	57.73	%
	目標値	60.00	%

C 課題の整理

事業の評価・課題

C

新型コロナウイルス感染症による受診控えに対応するため、健診期間を約1か月延長して実施し、被保険者の受診機会の確保に努めた。
健康診査受診率は目標値には届かなかったものの前年度比1.68%増加し、県内２位となり、疾病の早期発見・早期治療による医療費の適正化に寄与することができた。

A 課題解決に向けた今後の方向性

今後の事業の方向性

改善推進

健診未受診者に通知等による受診勧奨を引き続き行うとともに、半田市医師会と連携し、通院者へ健康診査の受診勧奨をしてもらうなど更なる周知を行うことで、より多くの被保険者に疾病の早期発見、早期治療を促し、医療費の適正化を目指す。

観点別評価

必要性		有効性		効率性	
①市の関与の妥当性	法定事務	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	−

評価項目（決算時に作成） ／ 主要施策の成果報告書で活用